

# こうとう民報

2015年3月号 125

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 江東区民報編集委員会  
責任者 猪又 武夫  
住所 江東区東陽2-3-5-203  
電話 3648-5155 FAX 3648-5137  
ホームページ  
http://www.koto-minpo.jp/

## 重税反対全国統一行動



### 消費税増税中止、社会保障改悪ゆるすな!

第46回を迎えた「重税反対全国統一行動」に連帯し、「3・13重税反対江東区民集会」が開かれました。この集会には、江東区労働組合連合、労働組合、民商、土建江東支部、新日本婦人の会、生健会など280名が参加しました。集会後、江東区、西税務署までデモ行進を行い両税務署に統一申告を行いました。

集会では、江東税制民主化協議会の森外米蔵事務局長が基調報告をしました。消費税8%が増税され、業者の営業と生活がさらに深刻になっていると告発。安倍政権は昨年、消費税を8%に引き上げたことで消費が激減し、国内総生産が落ち込んだことに何ら反省もなく、2017年4月に引き上げると宣言した。一方で内部留保をため込んでいる大企業には2年で1・6兆円もの法人税減税を大盤振る舞い。社会保障では、医療・介護が負担増、年金・生活保護など引き下げをねらい、経営を脅かしているとの批判。この安倍政権の暴走政治を拡充することです。

耐え難い  
保険料負担の軽減を  
来年度、国民健康保険料は一人平均月3442円の引き上げ、介護保険料は基準額正を提案しました。



空襲体験を語る田近治代さん

## 東京大空襲 70年 「東京大空襲を語り継ぐつどい」 東京大空襲・戦災資料センター開館13周年

8日「東京大空襲を語り継ぐつどい」が江東文化センターで開かれ、空襲体験者をはじめ540名の方が参加しました。

つどいでは、俳優座代表の岩崎加根子さんが詩の朗読、戦災資料センターに訪れた第五大島小学校の生徒3名が感想を朗読、日大豊山女子高校・放送部のみなさんがTVドキュメント「まちの灯」旧中川ふれあい橋で毎年続けられてい

る灯籠流しの取材を通して東京大空襲の惨劇を伝えたいと発表しました。元教員の田近治代さんは、「教え子全員を失った3月10日」と自らの体験を話されました。田近治代さんは、もっぱらで登壇。88歳を迎え最後の講演ですと前置きし、「第一大島国民学校で教員になり初めて担任になったが、この空襲で28名の子どもたちを失いました。市川の実家で、空襲警報で避難した防空壕から見た光景は、照明弾で銀色に輝くB29の獣の唸り声にも似た爆音。西の空は、真っ赤。翌日、千葉街道を歩き亀戸へ。

日本共産党江東区議団は、2014年度第一回定例会に提案された区長提案の来年度予算案に対し、修正案を提案しました。



修正の基本は、医療、介護、教育にかかる負担の軽減を図ること、賃金の安い非正規雇用を増大させる民間委託を中止し、正規職員を配置すること、不要不急の事業は削減し、史上最高水準にある積立基金を活用し、生活支援の財源を確保すること、戦後70年、本区の平和事業

## 予算修正案を提案

### 日本共産党江東区議団

(住民税本人非課税者)で月4800円の引き上げを自公・民などオール与党で決めてしまいました。共産党江東区議団が行ったアンケートでは、「年金が下がるのに保険料が上がって、生活が苦しい」

また、子育ての負担軽減では、子ども医療費助成の拡充で1億8千万円のほか、小・中学校入学時の準備金支給、私立高校入学融資事業の継続などを提案しています。

修正案ではその他、保育園給食、学校用務、土木作業員など区民生活を支える職員の民間委託の中止、区長、議長交際の削減、区長退職金4年間で2600万円を半減、平和都市宣言普及事業の拡充などを求め、総額で1億6千800万円余(0.6%)を提案、他会派の賛成が得られず成立しませんでした。これまででも修正案で提案された多くの項目で事業が実現されてきました。区民のみなさんの要求をかがげ、その実現に引き続き力を尽くします。

焼け焦げた髪の毛、黒くすすけた顔の人々。何かにつまづき丸太だと思つと遺体です。亀戸に着くと賑やかな街並みはなく一面焼け野原でした。学校は土台だけで、焼土の中を子どもたちを探しますが再会することはありませんでした」と語りました。

早乙女勝元戦災資料センター館長は、東京大空襲70年を迎え戦争体験者や語り部のみなさんが少なくなり、資料センターの役割が重要になってきている。「戦争をする国」にむけた動きの中で、憲法をまもる運動や、体験を継承していく取組みが大切になってきていると話されました。

## 朝騒

桜の蕾がふくらんで間もなく満開です。3月10日は東京大空襲70周年、区内の慰霊碑には香華が供えられています。第二次世界大戦では、戦死した兵士の数より民間人の犠牲259万人も上回った戦慄の記録があります。その苛酷な戦争体験の記憶も歴史に変わりつつあります。江東区では、1971年3月の都教組江東支部編「炎の街」(小松崎区長も体験記を寄稿)刊行記念集会以来、毎年「東京大空襲を語り継ぐつどい」が開催されてきました。太平洋戦争での日本の民間人死者は、47都道府県400市区町村で約56万人といわれています。9日夜、TBSは「私の街も戦場だった」を放映、B51のガンカメラの映像や中央線高尾駅の湯の花トンネルの悲劇を証言にもついで再現しました。戦争には勝者も敗者もなく、犠牲はあまりにも大きいことを訴えました。「わが国は、自存自衛のためにやむなく米英との戦争に突入」と「大東亜戦争」を正当化する教科書の採決を主張する勢力が区議会に蟠踞(ばんきょ)し、山崎区長も安倍政権の「教育再生」と連携する首長会議にさきがけて加盟するなど、今夏の中学校社会科教科書採択は、区の教育をめぐる対決点となります。区役所前の母子像の建立にあたり故宮下絹子さんは詠みました。「いつか来た道絶たんために抗いて慰霊碑建てるためにペン持つ」

### 「商船学校と水産講習所」

## 概説 江東の歴史 (43)

商船学校



江東区に官立の高等教育の学校としてあったのは、商船学校と水産講習所です。

政府は洋式船の製造 購入をすすめるが、船の操縦は主に外国人に頼っていたので、船員教育の必要から三菱会社に命じ、1875(明治8)年に三菱商船学校をつくらせました。学校は永代橋近くにつなかれた帆船成妙丸を使用。永代橋の中央区寄りに「船員教育発祥の地」の碑がたっています。翌年9月に英人ラムゼーらを教授に迎えて開校しました。(現大学正門左に記念碑)

1882(明治15)年、官立の東京商船学校となり、校章も三菱に鑑み、区柄から羅針盤マークになります。1894(明治27)年には3階建煉瓦造りで気象観測台もある校舎が完成、そして、2年後に明治丸が練習船になりました。

日清戦争後、海運の重要性が高まり、1902(明治35)年、壺岸島から現在の越中島に校舎を新築して移転しました。当時の観測台が正門を入った左側の木立に囲まれています。

1904年の日露戦争では、民間の汽船は軍用に徴発され、商船学校卒業生は海軍予備少尉候補生となり、学生も海軍の兵籍に編入されました。

1900年初め台風や大震災での被害からも復旧し、1925(大正14)年に通信省から文部省の管轄にうつされ、東京高等商船学校になりました。終戦後は一時米軍に接收されますが、1949(昭和24)年、国立商船大学(現海洋大学)となりました。

水産講習所は、1889(明治22)年の大日本水産会の水産伝習所がその前身で、1907年官立となりました。1900(明治33)年、越中島の商船学校の東側に新校舎ができました。実験場や試験池の一部は冬木の養魚池におかれました。講習所は本科、遠洋漁業科、研究科などにわかれ、水産発展に貢献しました。卒業生には蜷川虎三(元京都府知事)がいます。

講習所は、1949(昭和24)年に港区港南にうつり、国立東京水産大学(現海洋大学品川キャンパス)になりました。

### -2.24 怒りの江東地域総行動-

# 憲法改悪反対! 消費税増税中止! 大幅賃上げを!



2月24日、区民要求実現江東大運動実行委員会は「2・24怒りの江東地域総行動を行いました」

安倍政権の暴走政治をやめさせるため声を上げよう」と開会あいさつ。

来賓あいさつに立ったきくち幸江区議は「山崎区政が913億円の基金をため込む一方で、保険料は値上げ、施設使用料も値上げ、保育料も23区で一番高くなっています。区民のための行政に転換していくために力を合わせましょう」と呼びかけました。

各団体の決意表明のなかで新婦人江東支部は、沖縄・辺野古新基地建設を許さないために、計画の撤回を求めるのがきを安倍首相宛に出していることなど取り組みを報告。

東京土建江東支部は「公契約条例の制定を江東区でも実施させよう」と訴えました。アサガミプレスセンター労組は「春闘での賃上げを勝ち取り、労働法制改悪を許さない取り組みを広げよう」と呼びかけました。

朝は6駅頭で4団体23人が参加して春闘共同チラシ・ティッシュを1390部配布。

夕方からは「2・24江東区民集会」を猿江公園で開催し、17団体300人が参加しました。

江東社保協・青柳副会長は「介護報酬を2・27%引き下げられたら施設の運営ができなくなる。怒りで一杯だ」

公共一般江東支部は「自治体の非正規労働者の賃上げと雇用確保を」と訴えました。集会の最後に、「4月のいっせい地方選で増税阻止、格差青年学習講座

## 政党助成金制度をなくせ!

2月28日、江東・青年日本共産党後援会と民青同盟江東地域協議会の共催による青年学習講座が「政党助成金をなくせ!」をテーマに産業会館で開かれました。



話をする白石たみお都議

拡大ストップ、憲法9条を守るために、安倍暴走政治をストップさせましょう」との集会決議を採択し、参加者は東陽町までデモ行進しました。

これまでの20年間で総額6311億円が、日本共産党を除いた各政党に配られています。政党助成金制度は、リクルート事件、佐川急便事件など「政治とカネ」で政治を腐敗させる大事件が次々と浮上し、その背景にある企業団体献金を廃止するという「建て前」でつくられました。しかし、今では企業団体献金と政党助成金の二重取りをしています。これまで政党助成金を受け取った後、消滅・組織替えした政党は33党もあります。白石都議は、日本共産党が

今国会に政党助成金廃止法案を提出したことを紹介。都議団では、報酬の二重取りとなる「費用弁償」廃止にむけた取り組みを行っていることを報告しました。

## 革新勢力の結集で闘争を大げん!

江東革新懇定期総会 3月6日、江東革新懇は総合区民センターにて定期総会を開きました。



報告する坂口けいじ事務局長

れ「侵略戦争を美化する教科書の採択を許さない運動を広げていきましょう」と呼びかけました。

坂口けいじ事務局長は「団体、個人への呼びかけを強め、革新勢力の結集で、憲法を守り生かす運動を江東区で大きく広げていこう!」と活動方針などを報告。

討論では、きくち幸江区議から、中学校教科書で、歴史をわい曲し憲法を敵視する育鵬社・自由社の教科書の採択が狙われていることが報告さ

討論では、きくち幸江区議から、中学校教科書で、歴史をわい曲し憲法を敵視する育鵬社・自由社の教科書の採択が狙われていることが報告さ

### 江東区長・区議会議員選挙

- 4月19日告示
- 4月26日投票

### お知らせ

○ こうとう民報の4月・5月は合併号となります。